

第4回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第4回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和元年7月30日(火) 午前10時00分～12時00分
場 所	杉並第二小学校1階 第二音楽室
出 席 者	懇談会委員18名
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第3回懇談会の主な意見等について 3 改築基本方針(たたき台)について 4 改築校の児童数・学級数の推計 5 校舎配置検討(案)について 6 閉会
資 料	資料1-1 第3回懇談会の主な意見等 資料1-2 「改築基本方針(たたき台)」についての意見 資料2-1 改築基本方針(たたき台) 資料2-2 改築基本方針(たたき台 比較表) 資料2-3 改築基本方針(たたき台 全体像) 資料3 児童数・学級数の推計 資料4 配置検討のための条件整理(案) 資料5 校舎配置検討(案) 資料6 学校周囲の道路拡幅整備及び歩道状空地整備の考え方について(案) 参考資料 杉並区人口ビジョン(抜粋)

司会	<p>それでは、お時間になりましたので、ただいまより杉並第二小学校の改築検討懇談会を始めたいと思います。ご出席いただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>今回内容が多いため、2時間を目安に進んでいきたいと思っています。12時終了という目安で進められたらと思っております。どうぞご協力をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
----	---

教育施設計画推進担当係長	(配布資料の確認)
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の2番「第3回懇談会における主な意見等について」ということで、資料1-1について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	(資料1-1の説明)
司会	<p>第3回の懇談会について、丁寧にまとめていただきましてありがとうございました。</p> <p>それでは、続きまして、前回の懇談会后に事務局宛てにご意見を提出された委員のほうから、資料1-2についてご説明をお願いいたします。3分以内ぐらいでよろしくをお願いいたします。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>これは、私が代表させていただいている会で、前回いただいたたたき台を見て勉強会を3回ぐらい開いて、意見をまとめたものです。</p> <p>長いものなので、簡単に私のほうで、番号1、2、3とただ読みますけれども、1は、ビジョンや目標には根拠が必要だと思うのです。そのことについてまだ議論されていない。どういう根拠でこういうビジョンを立ち上げているかということを議論できたらと思っていて、例えば、今回も人口の変動とかもありましたけれども、例えば気候変動で1つ事例を言いますと、100年後には4度上がるとIPCCでは言われているので、そういうことに対してどう建築に対応するかとかも考えなければいけないと思います。</p> <p>2番目ですが、これは、基本方針とかに関しての検討期間がとても短い。前回25日前にいただいたものをすぐまた返事を出すのはとても難しいということで、それだけ踏まえていただきたいと思います。</p> <p>次のページのBの1で、もうちょっと細かくビジョンとか目標についてなのですが、1つは、工事期間についてのビジョンを基本方針に組み込むことができればいいかと思います。特に、在校生のことについて、どういうふうにして改築に関して一緒にできないかということを考えています。</p> <p>下の2番目ですけれども、これは「みんなで作る学校」ということも基本方針に入れることがいいかなと思います。</p> <p>次の3なのですが、ビオトープです。ビオトープは少し触れていますけれども、これは杉並区の中でも一番大きなビオトープ、自然型のビオトープはとても珍しいものなので、それは必ずどちらかのほうに、方針のビジョンの中に入れておきたいなと思っています。</p> <p>次のページの4ですけれども、「自然の循環を考えた学校」。今まで建物でそこまで自然の循環を考えていない。それを改善したいなということで、それを4と5と同じなのですが、4は全体的な空気とかも含めてなのですが、5になると本当に川のこと、ちょうど善福寺川の中流にある学校なので、この</p>

川に関して考えることはとても重要な学校になっていくのではないかと思います。

特に、水害を防ぐ学校ということも考えることができますと思います。

6番目の善福寺川緑地にアクセスしやすい工夫をすると、これは先生方も含めてみなさんおっしゃっています。子どもたちを公園に連れていきたいけれどもなかなかアクセスしにくいなということをできる限り改善したい。

次のページの7番目ですが、伝統と特徴というのは実際何なのかということをお話と一緒にご議論できたらいいなと思います。

皆さんいろいろ違う意見があると思いますので、そういうことについても、実は皆さんにお聞きしたいなと思っています。杉二小というのはどういうイメージなのかということ。

8番目は、これはさっきの話なのですが、スローガンが出ましたけれども、「川に囲まれた丘の上の学校」がいいのではないかと。

9番目のビジョン3なのですが、これは「地域が、地域のために、地域をつくる学校」はどうかと思います。ただ単に地域がつくる学校ではなくて、地域をつくる学校というのは大切だと思います。

10番目は、これは先ほど既におっしゃっていましたが、今後どのような学習環境かわからないので、できるだけ対応できるような学校づくりをしたい。

11番は、ICT教育の環境ということなのですが、これも今後どうなるかわからないということをお話したので、ちょっとここに説明しました。

12番目は、エコスクールという言葉なのですが、それを実際どういう定義かということをお話私知らなくて調べてみたのですが、そのことについても検討できたらいいなと思います。多分、今までのエコスクールという概念と、またさらに違うことをこの学校ではできるのではないかなと思っています。

13番目の地域の防災拠点、防災というのは本当に災害を防ぐような学校ができればいいなと思って、耐震だけではなくて、水害も防ぐということ。特にこの地域ですと水害が一番、地震の次に大きな課題だと思いますので、それをこの学校で、グリーンインフラという新しく国レベルで導入しているそういうテクノロジーをこちらのほうでも採用できればいいかなと思います。

14番目の、これは動線の話です。学校、校庭、公園ということ、できる限り動線を子どもたちのため、先生たちのためにつくり上げたいなと思っています。

15番目は、これは木造が欲しいなということ。もちろん鉄筋コンクリートも使わなければいけないと思いますが、でも木の学校はいいなと思います。

16番は図書館のことなのですが、できたら一般公開できるような図書館があると、地域の方も使えいいなということ。

17番は、フェンスは植物でやったほうがいいのか、生け垣のほうがいいのかということをお話しています。

18番は、三年坂で、たたき台の中にも書いてあったのですが、それを広げる

	<p>というか、車が通しやすいようにすると書いてあります。それはできたら望ましくない。あそこは子どもたちが歩くところで、既に子どもたちが使っているので、そこを通り道みたいにするのはよくないということ。</p> <p>19番は、できるだけいろいろな方に学校を使ってほしいということでユニバーサルデザイン。障害のある方も含めて、ユニバーサルデザインで学校をつくってみるのはどうかということです。</p> <p>最後ですが、5年生のお楽しみ授業で、改築のことについて子どもたちと一緒に何かをしようと思っていまして、できたらこちらのほうで、子どもたちから懇談会の皆さんに対して発表できればいいかなと、それを今企画していますので、もしそのことについていろいろご相談させていただけたらとてもありがたいです。</p> <p>最後に1つですけれども、校庭の広さをできるだけ確保したいと思っていて、130周年のときにも6年生にアンケートがあったのですけれども、そのときにもやはり子どもたちは校庭が大きいからとても杉二小は大好きだと、そういう意見が出ているのです。なので、今回条件が足りないから校庭が狭くなってしまうことを心配されている方もいたのですけれども、それはできる限り行政側で条件を特別に少し上げてもらうとか、そういうできることがあるのだったらとてもうれしいと思います。</p> <p>以上です。どうもありがとうございました。</p>
司会	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>今説明していただいた資料1-2と、それから、先ほどの資料1-1は、この後、次第3の改築基本方針（たたき台）についてということで、この後検討していく事項ですので、次第3に移らせていただきます。</p> <p>それでは、次第3について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料2-1、2-2、2-3、2-4を使用しながらご説明させていただきます。</p> <p>まず、今回の資料につきましては、前回の懇談会のご意見や、資料を事前送付いただくまでの間にさまざまなご意見を伺いまして、それをまとめたものです。したがって、事前送付した後にでも意見をいただいたのですが、それについては反映しておりませんので、ご了承ください。</p> <p>まず、資料2-1をご覧ください。こちらは、向かって左側が修正した方針案ということになります。右側の欄は、左側の欄の目標ですとか、取組のABC等々の順番が変わっていますので、それに合わせて第2回までに出た意見のものの番号を振り直したものになっております。</p> <p>資料2-1の裏面の下のほうをご覧ください。わかりにくくて申し訳ないのですけれども、スローガンの案についてなのですけれども、先ほど申し上げたとおり、前回そういったビジョン等の上位の概念にスローガン等があったほうがいいのかというご意見がありましたので、まず、こちらにつきましては、運営協議会からいただいた要望書の中にスローガンということ</p>

で「皆で創る 令和の未来を拓く 杉二小」というのがありましたので、案として提案させていただきました。ほかにも今日出れば、そういったものも含めて検討できればと思います。

資料2-2をご覧ください。こちらは比較表になっていますので、前回とどこが変わったのかわかりやすいかと思っておりますので、こちらを使って説明をさせていただければと思います。

まず、ビジョン1なのですが、ビジョン1というのは、大まかに言うと児童の教育について大きくまとめている部分になります。

前回「高機能かつ多機能」という言葉はなかなかわかりにくいというご指摘、ご意見等がございましたので、今回「多様な学びを」という形で修正をいたしました。

また「変化」というのも何の変化なのかという部分もわかりにくいといったご意見もありましたので、別紙のような「将来の教育変化にも対応できる学校づくりに」という部分に修正をあわせていたしました。

目標Ⅱですけれども、ビジョン3の目標Ⅳから移動しています。この移動した理由というのは、将来にわたって使い続けられる柔軟で効率的な学校づくりというのは、将来地域と共用できる施設という意味合いで前回ビジョン3のほうに持ってきたのですが、前回の懇談会の中で、児童数や教育内容の変化に対応できて、配置等も部屋を柔軟に動かせる形がいいのではないかとということなので、まず教育の分の教室等の確保が重要というところで、教育のビジョン1に移動してきました。地域のそういったニーズというのは、もちろん含まれた考え方になります。

取組につきましては、Aについては、これから教育内容に関するもの、下線部分を追加しましたのと、BについてはICTの部分については関係性がわかりにくいというお話もありましたので、表記のような形に修正いたしました。

Dにつきましては、ビジョン3の取組のところから移動し、下線部分を追加した形になっています。

続きまして、ビジョン2なのですが、ビジョン2は子どもたちの安全・安心ですとか環境の部分についてまとめたビジョンになります。

ビジョン2については、前回懇談会で、ビジョン2だけではないのですが、少し精神性を持った表現が必要ではないかというようなご意見もあり、いろいろ検討したのですが、ここで「居心地の良い」という部分を快適なだけでなく、そういったニュアンスも含めて、こちらに修正をいたしました。目標もそれに伴って修正しております。

取組Gなのですが、こちらはかなり今回ご意見を伺う中で、地震ですとか、善福寺川沿いなので水害という、何の災害に対してかというのを明確にしたほうがいいのではないかとということや、そういったものに対してきちんと安全性を確保できる施設というご意見等が多かったので、ここではっきりと取組として入れました。

	<p>あと、新しいほうで言いますと I、これも前回のご意見のところ、杉二小の敷地の段差というのは弱点ではなくて、特性だという観点を入れたほうがないかという部分で、そういう表記に変えました。後半部分下線を忘れてしまって申し訳なかったのですが、前回の「景観形成」という言葉ですと、外観だけという印象を与えるということでしたので、「施設づくり」という形に修正をしました。</p> <p>ビジョン3につきましては、これは地域の核としての学校についてまとめた形になっております。</p> <p>前回ビジョン1のところにあった杉二小の伝統と特色という部分についてですけれども、あの後、この周辺のあたりのことをいろいろ勉強させていただいたところで、こういった伝統とか特色というのは地域の核としての学校という部分との関連性が高いというところで、こちらのほうに移したということになります。</p> <p>あと、取組のMなのですけれども、前回ご意見いただきまして、サイン計画等も含めて、多様な利用者に配慮した施設設計というのが今後、外国人等も増えたりとか、高齢者、いろいろな方が使う施設ということで、そういった表記が必要ではないかということで、追加しました。</p> <p>資料2-3につきましては表記のとおりなのですが、資料を事前送付した後、広松委員から、目標3と4、逆のほうがいいのではないかと、ビジョンの語順と合わせたほうがいいのではないかとということで、そういうご指摘をいただいております。また、ビジョンとそれぞれ目標等の連結点で結んだほうがよいのではないかとというようなご意見をいただきました。</p> <p>最後、資料2-4なのですけれども、前回子どもにもわかる言葉のビジョンということで、事前送付には間に合わなくて、先生等にはご相談しながら、今のビジョンを翻訳していただくような形で、今回このように提案をさせていただきました。</p> <p>私からは以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、たくさんあったのですが、ご意見をありましたら出していただけたらと思います。</p> <p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>一般論として申し上げたいのですが、私自身、当初から期待していたのですが、設計事務所も決まりまして、教育委員会からいろいろ説明して大変ありがたいのですが、ユーザと、それから設計する人とが信頼関係をつくるには直接お話する機会が必要だと思うのです。ワーキンググループでも何でもいいです。形式はどうであれ、そういう実質的な機会が必要だと思うのです。</p> <p>それから、委員がきれいな、本当に短時間でよくまとめられたと感心しているのですが、この意見がどうやってフィードバックされるのか。言いつ放しなのかというのを危惧を感じております。</p>

	<p>また、オブザーバーでもなくて、設計事務所の方が来られているわけです。ですから、図面を引く前にプロの方から回答をいただきたいです。</p> <p>以上です。</p>
司会	事務局のほうからありますか。
教育施設計画推進担当係長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>まず、今までたくさんご要望やご意見等をいただいております。それについては全て営繕課及び設計事務所にはそのまま渡しておりますので、特にこちらのほうでフィルターをかけて渡しているということは全くございません。</p> <p>あと、そういった質問、要望等に対してのQ&Aについては、こちらでも作成を準備していますので、それについてはご了解いただきたいということと、今後配付する資料の中である程度お答えできる部分もあるかと思っております。</p> <p>設計事務所さんと直接お話しするということについてなのですが、まずこういった懇談会の場がありますので、そこで直接聞いていただくということはもちろん可能なのですが、個別ですとか、そういったところで直接設計事務所さんとそういった会を設けることは考えておりません。ご意見、ご要望があるのであれば、私や営繕課職員等できちんとお伺いして、設計事務所にお伝えしていきたいと考えております。</p> <p>私からは以上です。</p>
委員	風通しよく、こちら側の皆さんが考えていることが設計事務所にダイレクトに伝わって、キャッチボールしながら進めていければ理想かなというふうに思います。
司会	ありがとうございます。
委員	設計事務所から設計方針というのを必ず出して、だからこういう建物にしましたという説明があります。そういうプロポーザルというのみなれていらっしゃいます。それに対して、私たち、それから役所のほうからうんとけちをつけることによってお互いに信頼感が出ると思うのです。だから、単にここでセレモニーをやるのではなくて、それは本当にもったいないです。ぜひ、お願いしたいと思います。
司会	それでは、スローガンやビジョンについてのご意見をお願いいたします。
委員	スローガンって、私、何回か出ていないので、今までの経緯がよくわからない。改築に当たってのスローガンなのですよ。杉二小についてのスローガンということではないですよ。
司会	改築に当たっての。そうです。
委員	そうですよね。令和というのが期間限定みたいな言葉が入ってくるので、そうすると、将来的な、いわゆる杉二小というスローガンになると、当然令和というのはある程度の期間で、長い目で見れば当然時間の経過とともに変わることがあるので、改築という、こういう部分でよろしいですよ。

<p>司会</p>	<p>はい。改築に当たってのスローガンということです。</p> <p>こういったふうにとくさんのご意見をいただきながら、よりよいものをつくっていくというところでは、「皆で創る」という言葉はとてもいい言葉だなと思っておりますし、また、これからの、先ほどご提案いただいた環境のことですとか、それから、将来にわたる変化についてのことを考えると、「令和の未来を拓く」という言葉もなかなか、この改築に対してはマッチしているかなと思っております。</p> <p>スローガンについてはよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど私、説明不足だったかもしれません。できたら、根拠を先にお話、こちらのほうで議論できたらと思ったのですが、今、議題で、多分この児童の変化とかそういうことが後になっていきますけれども、それを先に話してからスローガンとかビジョンのことについて語ったほうが、もうちょっとわかりやすいかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、先に資料3の児童数・学級数の推計についてご説明させていただきます。</p> <p>資料3は、杉二小の児童数・学級数の過去10年間の推移と、令和2年度以降の児童数とクラス数の推計を示しております。こちらの推計については、現在の学区内の未就学児の人口をもとに、転入、転出や指定校の変更ですとか、国公立等の就学者等を考慮して推計を出したものです。</p> <p>杉二小につきましては今後非常に増加が見込まれておりまして、令和6年度には24クラスになることが予想されております。</p> <p>続きまして、人口ビジョンをご覧ください。こちらは2枚目ですけれども、いろいろなケース、全部で4パターンございます。まずケース1の場合ですと、14歳以下の年少人口のピークが2025年ということで、令和でいうと7年。人口自体のピークは2035年になっております。</p> <p>ケース2の場合ですと、合計出生率が1.38ということもありまして、年少人口のピークが2045年、全体の人口自体は2035年がピークとなっております。</p> <p>2枚目の裏に行ってくださいまして、ケース3の場合ですと、2025年が人口及び年少人口もピークになっております。ケース4については、これも同様で、2025年が人口及び年少人口がピークとなっております。</p> <p>人口推計ではこういった形になっております。ただ、これは区内全体の数字ですので、杉二小の児童数とその先のほうにつきましては、関係性は正直わからないところなのですけれども、全体としての傾向はこういったことということで、推計をしているところです。</p> <p>資料3については以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>この資料から見えていくと、近い将来、既に24クラス、各学年4クラスになっていくという予想がされているということです。</p>

	<p>それでは、この改築校の児童数、それから、学級数の推計について、何かご質問等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>結論としては、10年ぐらい以内に24クラスになる可能性は十分あるので、それに空間状を開放しましょうということですね。結論としましてはね。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>そうです。</p>
司会	<p>大変住みやすい環境というところで、多くの方がこの地域に集まってきている状況がある。</p>
委員	<p>ちょっとよろしいですか。これだけぐっと伸びるという要因は、どういったことが考えられて、伸びる要因。</p> <p>平成28年から急激にアップしています。あそこのプラウドの影響ですか、これは。</p>
学校整備課長	<p>この推計そのものは、実は学務課というところが所管をしていて、学務課のほうで出していただいた推計なのです。学校ごとにいろいろあります。</p> <p>この杉二は確かに急カーブといいますか、かなり伸びる。ではほかの地域はどうかというと、実はそうでもない地区があつて、学校ごとに細かく子どもの数だとか出生の数なんかをいろいろ計算をしていったら、かなり伸びていくというのは、逆に言えば、それだけ土地に余裕があつたりして、例えば大きなおうちが共同住宅に建て替わるだとか、そんな予想もいろいろしながら、かなり。交通の便とかも正直、ここは南阿佐ヶ谷も近いですから、そういったものも含めて、実はかなり伸びるだろうという予想で、我々もかなりほかの学校に比べると伸びていくというのが非常に多いのです。これで高どまりかということ、さっき言ったようにさらに伸びる可能性もあるので。</p> <p>実は、さらに中長期の学校別の推計を学務のほうにお願いをしていて、出してもらっているんで、その結果によってはさらに増えて、25とか30近くクラスが増えるという予想が出る可能性もありますが、そういった場合にはそれに対応できるようなしつらえだとか、準備のほうを設計上もしていかなければいけないということです。かなりうれしい悲鳴というか、子どもが増えることはいいのですが、そういった現象が今実際に、杉二のこの地区では起きていると、それを反映した推計だということでご理解いただければと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、そのほか。</p>
委員	<p>今、児童のことを私たち見ていると思うのですがけれども、高齢者の方と、あと、乳児の方、年少人口のことについて見るとおもしろいところです。高齢者が増えてくるのはずっとです。2050～2060年までずっといくという、そういうことと、反対に、年少人口はそのまま減っていくということなのですけれども、学校に関して、特に地域のことを考えてみると、例えば、高齢者のための施設もしくは、例えば幼児のための子育てがしやすいような施設も、学校の中にそういう仕組みもあつたらいいかなと思ったので、できたらビジョンに取り込む</p>

	<p>ことができればいいかと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほかご意見いかがでしょうか。</p> <p>それでは、前回ご意見として出ていた子どもにもわかりやすいビジョンがあったほうがいいのではないかとこのところ、追加資料の2-4を事務局のほうでつくっていただきました。また、桑田先生にもかかわっていただきながらこちらをつくられたということで、桑田先生からちょっとこちらのビジョンのほう。</p>
委員	<p>資料3と、資料2-3と資料2-4を見比べながらお話を聞いていただければと思います。</p> <p>先ほどご紹介ありましたビジョン1、ビジョン2、ビジョン3をなるべくわかりやすく言いかえてみようかと思いました。</p> <p>ビジョン1で私が思ったのは、「多様な学び」というのはどんなことなのだろうというのが、もっと具体的にわかりやすく書ければと思ったのです。そこで思い切っているかもれませんが「いつもは友だちと一緒に、ときには一人で集中して学ぶこともできる」、要は学びが楽しくなる学校をつくりたいのかなと思ひまして、「学びが楽しくなる学校を作ります」。</p> <p>「将来の教育の変化にも対応できる」というのは、教育という言葉は使っていないのですけれども、「また長く使い続けることが出来る学校を作ります」と考えました。</p> <p>ビジョン2は、先ほど渡辺さんからは「善福寺川緑地」と言わずに、また別の言い方のほうがいいのではないかとこのお話もありましたけれども、そこは反映できていなかったのですが「善福寺川緑地を生かしながら、通いやすく、安全・安心で居心地の良い」、やっぱりキーワードは「居心地の良い」かなと思ひまして、「居心地の良い学校を作ります」とまとめてみました。</p> <p>ビジョン3の「伝統と特色」というのは、これはうまくダイレクトに伝えるというのが難しかったので、一番大事なことは、杉二小は地域の人々からずっと大切にされてきたということ子どもたちにも伝えたいかなと思ひまして、「ずっと大切にされてきました」と。「これからも近隣の人と一緒に使うことができる学校を作ります」ということで、それぞれビジョンなのですけれども、要は、こういう学校をつくりますということをなるべく具体的にわかりやすく示してはどうかと思ひまして、こういった案をつくりました。ぜひ、たたいていただければと思います。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>また、先ほどの質問は、資料の1-2の中にもあったのですけれども、杉二小の伝統と特色は何なのだということ、もう一度ご意見をいただきながら学校でも考えてみました。</p> <p>1つは、100周年のときに、同窓会が立ち上げてくださった同窓会文庫といわ</p>

	<p>れるものがあるのですね。そういったものが脈々と同窓会から本を寄贈いただきながら、子どもたちが本に親しむ環境が整っているのも1つの伝統であり、特色かなと思っています。</p> <p>それから、ここは金田一晴彦さんが同窓生ですし、また、谷川俊太郎さんが同窓生でもあるということ。学校にも何回か講演に来ていただいたこともありますし、そういった部分ではたくさんの文学や言葉や本に囲まれた環境も1つのものであるのかなと感じています。</p> <p>また、そういったものをビジョンの中に落とし込み、また、設計の中に落とし込んで、ぜひ地域の方やいろいろな方が、同窓生を含めていろいろな方が利用できるのがいいのかなと。</p> <p>また、今現在の図書室も、地域の保育園の方が学校に来て、そこで司書がやる読み聞かせだとか、地域の方が話す読み聞かせを聞いている夏休みなんかそんな取組もやっているのですね。</p> <p>ですので、もちろん一番は自然に恵まれた環境という特色や伝統もあると思うのですが、さらにはそういう文学的なものも取り入れていくようなものがないなんて、学校関係者としては感じているところです。</p> <p>そのほか、ご意見等いかがでしょうか。</p> <p>お願いいたします。</p>
委員	<p>先ほど校長先生から同窓会文庫の話が出たのですが、100周年のときに同窓会をつくろうという話になって、学校の予算では賄い切れない図書もあるだろう、あるいは、こういう図書は、漫画みたいなものは学校で買うべきではないという図書もあるだろうと、そういうことを自由に何でもお使いくださいということで、ずっと続けてきまして、現在までに約4,700冊寄贈させていただきました。金額にして、累計約600万円になるのです。</p> <p>書庫が足りないということで、書架も準備させていただきました。その部屋もつくっていただいたのです。</p> <p>いわゆる学校の図書室というのは勉強する場ですから、きちんとした態度で机に向かって、椅子に座って読まなければいけないかもわからないけれども、同窓会の場合はカーペット式にして、寝そべて読んでもいいよという、そういう自由な空間にしたいというのは、同窓会の希望でございます。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、ご意見どうぞ。</p>
委員	<p>これは子どもたちにわかりやすい改築に対する考え方を伝えるという意味ですよね。</p> <p>もっとストレートにわかりやすい。いわゆる学びが楽しくなるとか、学んだり、遊んだり、スポーツしたりできる学校という意味ではないですか。</p> <p>これ非常に、こういう言葉、子どもたち向けの表現かなと、非常に率直な印象です。</p>

司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そのほか、いかがでしょう。</p>
委員	<p>どうも本当にありがとうございます。ビジョン1の中で、私もすごい「多様な学び」ということをどう伝えるのかなというところですので、すごく苦心してしまっ て、「友達と一緒に」とか、すごく説明的かもしれないですし、わかりにくくな ったかもしれないです。おっしゃるように、もうちょっと学びとか遊びとか、 そういうことでイメージできるほうがいいかもしれないです。どんどん意見出 してもらえればと思います。</p>
委員	<p>先ほど校長先生がおっしゃった自然だけではなくて、文学とか言葉とかとい う話、そういう人文的な文化です。</p> <p>最近、例えば角川書店が「武蔵野樹林」という雑誌を出し始めて、東京都の 中の武蔵野。武蔵野は、本当は渋谷あたりからずっと広がっていたのですよね。 だんだんだんだん失われて、西のほうに行かないとなくなってしまったのです けれども、杉並は本当は武蔵野の中心ですよね。そこにまだ緑とか自然が結構 生きている。だから、杉二はまさに武蔵野的な原風景を持っている。</p> <p>だけれども、同時に武蔵野というのは文学なわけです。幸い、阿佐谷を中心 に文士がいっぱいいたとか、象徴的に金田一さん、谷川さんがこの小学校か ら出てこられたということで、本当に自然と文学を一体としていくというのは すごくいいイメージだと思います。ぜひ、そうしていただきたいと思います。</p>
司会	<p>そのほか、ご意見いかがでしょうか。</p>
委員	<p>学校の役割として、当然日中、公共機関として勉強するというのはもちろん あるのですけれども、学童の立場からすると、その後、これだけ人口が増える と、働くお父さん、お母さんも増えてくるということを考えると、学校に求め られているのは日中だけではなくて、その後の、ある種保育的な部分である とか、親と一緒になかなか時間を過ごせない時間を友達だったりとか、大人の方 々と過ごすという役割を担っていく必要があるのだろうなど。その部分が、今 だと文言としてはちょっと弱いのかなというのが1つございます。</p> <p>あとは、先ほど委員からもありましたけれども、プロセスをみんなにつくっ ていこうと。スローガンの中にも「皆で創る」というのが入っているわけなの ですけれども。「皆で創る」というところが、例えば、今の在校生、もしくは今 から入ってくる、この工事の期間の中で、通常の体育の授業だったりとかい うのが受けられなかったりするという、ある種デメリットをこうむる部分が出 てくると思いますので、その辺をいかにカバーするプロセスができるのか。その 辺を含めて、「皆で創る」という言葉になっていくといいなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、時間のこともありますので、最後に、工事期間のことについても ビジョンの中というご意見があったのですが、事務局のほうから何か、それ についてはありますか。</p>

<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>基本的にこの改築のビジョンというのは、あくまでも建物の改築の部分に関する中身ということと、ビジョンの取組等に入れるということはこれまでも行っていないかったということもあるので、入れておりません。</p> <p>在校生の対応については、適宜情報提供等しながら、そういった極力不利益をこうむらず、そういった参加意識が持てることについては、学校の教育課程等も含めながら相談をしていきたいと現段階では考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、今たくさんのご意見が出たと思いますので、次回それを反映させるものとして、次回基本方針等出せるように事務局のほう、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次の議事に移りたいと思います。次第の4番は終わりましたので、次第の5番に移ります。今度はいよいよ次第5の校舎配置（案）について、事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
<p>石本建築事務所</p>	<p>それでは、資料4、5、6を使わせていただきまして、今度はハード面、配置検討のための検討ということで、設計を担当しております石本建築事務所です。よろしく願いいたします。説明させていただきたいと思っております。</p> <p>お手元に資料の4「配置検討のための条件整理」ということで、共通の考え方について4つほどまとめまして記載させていただきました。</p> <p>この案なのですが、目的としましては、もう1枚の資料5に、東、南、西、北に校舎を寄せた案を考えてみようということで、案を出させていただきながら、皆様と協議させていただきまして、いろいろな意見を収集させていただきまして、次回につなげていこうというための、今回配置案を提出させていただいたという次第でございます。</p> <p>それでは、資料4、共通の考え方ということで、まず1番目なのですが、今、杉二小につきましては、基本的に西側の鎌倉街道からのアクセスということなのですが、児童の安全な通学を考えようということからしまして、善福寺川のほうから、赤で書いているところですが、こちらからのアクセスを考えると、通学時の混雑を分散させることで、安全性の高い学校づくりを考えていきたいということで提案させていただいているところでございます。</p> <p>こちらの鎌倉街道につきましては、主要生活道路という指定がございまして、こちらを安全に整備していくということがありまして、道路の拡幅を考えているということが区でございましたので、こちらをあわせて検討していこうというところでございます。</p> <p>続いて、今度は学校の規模がどれぐらいのものになっていくのかということで、確認的なところで挙げさせていただいております。</p> <p>改築後の校舎と校庭の大きさについてということで、結論からしますと、校舎につきましては、今のところ最大で8,680平米程度。校庭につきましては、</p>

なるべく現状と同程度を確保していこうという努力をしていこうと考えております。55メートル掛ける70、120メートルトラックと書いてありますが、杉二小の校庭につきましては、ちょっと台形な形ではございますが、こちらを正形気味に調整をしていくと大体55メートル×70メートルぐらいのグラウンドかなと。この中に入るトラックとしては大体120メートルトラックぐらいかなというところで、この規模をなるべく維持していきたいと思っているところでございます。

この敷地面積なのですが、鎌倉街道の道路拡幅、三年坂の道路拡幅ということがございますのと、それと備蓄倉庫の300平米が増えたりというところ、これで相殺していくと、今のところでは大体1万850平米ぐらいの敷地面積になるのではないかと考えております。

容積率が80%という指定がございますので、こちらから考えていくと、新しい校舎については最大で約8,680平米ぐらいと考えています。

既存の校舎が6,540平米という状況ですので、これを引き算してみますと、大体2,140平米ぐらい。これがどれぐらいの規模かというのが、皆さん、資料に書かせていただきましたが、この赤点線ぐらいのところ、3階建てぐらい、大体、このまま建つわけではないのですが、これぐらいの水色とピンクのボリュームぐらいの校舎のボリュームが大体8,680平米、3階建てぐらいの、前後するところがあるのですが、これぐらいで考えていかななくてはならないというところではあります。

かつ、グラウンドについては先ほど申し上げましたとおり、なるべく55メートル掛ける70メートル、120メートルトラックをこのボリュームと組み合わせながら、この敷地の中でつくっていこうというのが非常に難しいところではございますが、今回の目標というところになってまいります。

先ほど申し上げました西側の道路後退と南側の道路後退につきまして、今回資料6というものを追加させていただきまして、説明したいと思っております。

西側道路なのですが、まず、道路拡幅によって1.75メートルほど後退する想定で今おります。そこが道路側の敷地境界になりまして、そこから敷地境界の内側に2メートルの歩道を設ける。歩道状空地というもののなのですが、区のルールからしますと、そういうものを設けるということになります。

一方、南側の道路につきましても、まず、建築基準法上は4メートル以上の道路に接しなくてはならないということがございます。今2.5メートル後半から3メートルの間ぐらいの道路空間幅ということのようなのですが、そちら大体75センチぐらいという話のようなのですけれども、後退させた上で、かつそこから2メートルの歩道を敷地内に設けるという形で道路を整備するという方向で、今調整が動いているところでございます。

こういった形で、敷地の境界線の位置が変わって、面積がこの道路後退によって若干減るという方向がございまして、

一方、東側の道路になってまいります、こちらにつきましては、道路幅員

としましては一応8メートル前後の道路ということで確保されているということで、あと、今ガードレールが擁壁側のほうにある状況で、歩道的なところがあるのですが、計画によっては、擁壁を調整して2メートルの歩道を確保するかということが今後の計画次第かなというところで、今推移している状態でございます。

続いて、3番目になります。配置の考え方についてということで、これは諸室関係の配置のことになります。

目的が、先ほど申し上げましたとおり、グラウンドをなるべく広く確保する。それと、面積をなるべく有効に活用する。この2つの目的をまず目標に目指しながらなのですが、やるべきことは、まず基本的なところとしましては、ここに挙げた4点です。

校庭をできるだけ確保しますということのために、教室については、地上3もしくは4階。それと、有効活用するために、今杉二小の地下と呼んでいるところがあるのですが、今、こちらが1階、この下に理科室があります。地下といいたって、採光がとれる部屋が確保できるということもでございます。そういったことも考えまして、なるべく高さ制限がある中でも、積み重ねていって、グラウンドをなるべく確保しようというのを考えております。

続いて、2番目になります。これも一般的な話なのですが、普通教室につきましては、南側もしくは東から採光がとれるというふうにしたいと思っております。なるべく各学年で差が生じないようにするのが基本かなと思っている次第でございます。

3番目です。安全・安心な学校をつくるという意味合いでも、校庭に対して、管理諸室については校庭を向くように考えたいと思っております。特に、保健室については直接の出入り、これが大事だと思いますので、この辺のことも考えていきたいと思っております。

4番目、その他というところで、5点ほど記載しております。

給食調理場につきましては、今の東側の1階の下ということを考えようかと思っております。

災害時に、いろいろお話いただいておりますが、体育館になるべく直接の出入り、搬入のしやすさというものを考えようかと。

それと、学童保育エリア、地域開放エリアについては、直接の出入り、管理区画のしやすさというものを考えていこう。

敷地内の段差、これは5.5メートルほど西と東であるのですが、どうやっていこうかというところで、少なくとも校舎の中で解消はしていこうと、使いやすい学校にしていこうと考えております。

それと、校庭については段差があるということがございます。最終的には造成が必要かなと思っております。そこでなるべくフラットにしていって、使いやすい学校ということにしていきたいと思っております。それと、環境ということもでございます。雨水流出抑制、それと緑化整備関係、少なくとも区の条例、

法令関係、そういったものを準拠しながら整備を進めていきたいと考えております。

4番目になります。共通事項の4番目ということで、今度は建て替え中の校舎計画、既存校舎・仮設校舎ということについてコメントです。

いろいろ考えてみたのですが、この校舎の建替計画につきましては、既存校舎を活用して、工事中の期間、既存校舎をなるべく使っていくというところで考えていったほうが効率的だろうと思われました。特に、給食調理場がございますので、こちらを仮設にするようなこととかはちょっと難しいかなと思っております。

そういうこともありまして、仮設校舎、今この位置に描いておりますが、ちょっと動いたとしてもなるべくコンパクトな形でとりまして、先ほどあったように、この水色とピンクのボリュームモデル、これをこの中でやっていくというためには、なるべく本当に建設範囲を広げる必要があります。

そういったことをするためには、既存体育館については大分老朽化しているところもあるのですが、既存のプール棟についても検討していかなければならないかなというところで、その場合どうだろうかというところで、今回案を5つ出させてもらっている次第でございます。

続いて、資料5に移りたいと思います。お手元のほうに比較表という形で、ABCDE案という形で挙げさせていただきました。

A案とB案につきましてはちょっと似通っているのですが、東側にボリュームと南側にボリュームを置く形で考えてみた案。

それと、C案につきましては、北側に寄る形は考えられないだろうかというところで考えてみたのがC案です。二重になっているのですが、既存の校舎自体が今の建築基準法上の法令からしますと、影が大きい。昭和35年に建った建物でして、当時は建築基準法で日影規制というのはまだない状態でできた学校ということがございます。今回につきましては、北側に建てるので、北側にそれぞれボリュームがあるのですが、こちらについてはなるべく北に置く場合にはボリュームを下げる方向ということで、北側の近隣の方々の同意を得られる形で計画を進めたいと思っている次第です。

D案につきましては、東西南北というような形で考えていく中で、西側にボリューム、鎌倉街道側にメインのボリュームを置く案がないだろうかという形で考えたのがD案になります。

E案につきましては、既存のプール棟を残した場合どうなるかというところで、1つ案をつくってみたというのがE案という形になります。

では、それぞれ特徴を説明させていただきたいと思います。

まず、A案、B案なのですが、東側と南側に、基本L字型にボリュームを置く形となります。

施設構成というところ、左側に色で凡例があります。既存校舎は水色、仮設校舎はグレー、新校舎になるところはオレンジ色、既存校舎利用というところ

でE案になりますが緑色、道路の後退の境界ライン、歩道状空地のライン。それと、日影規制ラインということで、これは目安としてご覧になっていただきたいのですが、北側のほうに紫色の波線を2本引いております。北側のほうが2階建ての大体想定ライン、その下、南側のほうは3階建ての想定ラインというところで記載して、これは目安として見ていただければと思います。

想定として、主な出入り口、それと補助的な出入り口、それと案によっては既存の木というものを置けないかなというところもあって、これも現時点では目安になってくるところもございしますが、そういった案も出してみようと思われました。

A案、B案に移りますが、A案のほう、体育館を北に、校舎、学童、これを一体として南東側に配置した案ということで出させてもらっています。

「校舎環境」「校庭環境」「周辺環境」「仮設工事環境」「工事STEP」という形で、各案出させてもらっております。

校舎の中の環境です。校舎を南東に配置します。体育館を北東に配置するという案です。それと、学童につきましては、桃井第二小学校のような形で、校舎の中に含めて、南東側に配置しようかと、ここでは考えてみました。

普通教室については、東、南に計画をここでは考えてみました。普通教室については採光上東、南が望ましいのではないかとこのところ、ここでは普通教室をこことここというふうに考えてみました。1階が出入り口関係で、あるいは学童とか、そういったところでとられるかなと思ひまして、2階、3階でとれるように考えてみました。一方、グラウンドの見守りということがございしますので、管理諸室につきましては、こちらのL形に考えようというのがこの案になります。

校庭環境というところでは、表にあります、校庭は5案中1番目に広いということで、この部分が校庭になるということです。校庭については、影がかかるかどうかということがよく課題になりますが、ここににつきましては、午前中の影、ここについては日当たりがよいという計画かと思っております。

校庭の高さなのですが、この辺の段差の部分を最後に地山を崩しながらレベルを調整していくという形を考えておりますので、少し下がるぐらいで調整してはいかかなと思っておりますのでございます。

周辺環境なのですが、今までここに学校があったので今まであれだったので、防球ネットを場合によっては設ける必要があるかなと考えているところがございます。

それと、鎌倉街道側につきましては大分あくということがありますので、今まで体育館がある風景から圧迫感が軽減する形となります。

校舎の主な出入り口なのですが、学校に近い側での出入り口を考えた場合には、東側になっていくのかなというところがございます。

仮設工事の考え方なのですが、こちらの見にくくて恐縮なのですが、図をご覧になっていただければと思うのですが、最初にこちらにつきましては

プール棟を解体せざるを得ないかなと思っているところでございます。今使っているプール棟の中で、プールにつきましては準備できないところがあるのではないかなと思っているのですが、学童、それと図書室につきましては、2階建ての仮設ぐらいでコンパクトにつくっていけないかなと思っております。

「工事STEP」というところをご覧になっていただきければと思うのですが、1番、学童、図書室の仮設建物をまず準備した上で、既存のプール棟を解体して、L形の部分をつくる。できた時点で、校舎から引っ越していく。引っ越しが済みましたら、既存の校舎を解体して、体育館をつくるというステップになります。

B案につきましては、体育館ではなくて、学童が独立した形で置く場合どんなことが考えられるかというところで考えてみたのがこの案です。

こちらにつきましては、この差なのですが、特に体育館をさらに分棟した場合ということも考えてみたということになります。校舎の配置上、なかなか場所がとりづらいことがありまして、体育館についてはこっちかこっちかという形になるかなと思っておりました。学童を独立させるとしたら、体育館のここに入れかえというのがあるかもしれないのですが、体育館を置いたみた場合というところで整理したのが1つこれを出させてもらおうかなと思っております。

教室についてなのですが、先ほど2階、3階で東、南と考えています。こちらにつきましては、学童がこちら側に独立して動くという場合には、南側に1、2、3、4、5、6という形で3層でとれそうかなというところでした。管理諸室につきましては、やはり校庭の内側に面する形というところで考えてみました。

こちらについては、このグラウンドをなるべく広く幅をとろうということもあって、この違いなのですが、中庭については多分とれないだろうというところで、この幅が小さくなると。場合によっては、もしかするとヒマラヤスギが残るかなということが、今想定して見ているところでもあります。

今度はC案ということで、校舎です。既存の校舎をここに残した状態で、先にL形に、既存の体育館と既存のプール棟は仮設にした状態で先にこれをつくる。これができた段階で、ここに入っているのは管理諸室関係と普通教室関係を考えております。既存の校舎から引っ越しした後に、体育館、学童、それと、特別教室関連をこちらにつくるという案を考えております。

こちらの案につきましては、結果的などころもあるのですが、通り抜け的なところができるかなというところがあります。それと、グラウンドにつきましては、広く、今まで縦型だったのですが、南側で横向きの形でグラウンドがとれそうかなと思っております。グラウンドを介して、見晴らしのいい教室、管理諸室がとれるかなということが考えられます。

それと、鎌倉街道側にボリュームを置いた案というところなんです。東側に教室を置くということがありましたので、今のところ1、2、3階のところ普通

	<p>教室を置こうと。そうすると、グラウンドに面して管理棟がなかなかとりづら いということがございましたので、管理棟については別。既存の校舎を壊した 後あたりに、独立してつくるかどうかというところで、入り口を見守り、グラ ウンドを見守りというふうなところでこれでどうかなというところございま す。こちらについてもプール棟というのを新たに考えておりますが、場合によ ってはヒマラヤスギが残るかなというところではあります。</p> <p>E案ということで、既存プール棟を残しながら、南側に校舎を寄せた配置案 というところで、既存のプール棟を残した形でつくると。ただし、今ご要望を 受けている学童保育エリアの面積が少し足りないかなということがございまし て、増築分ということであれば、この北側に連動する形で増築していく形にな っていくのではないかと考えております。</p> <p>これは、体育館と校舎を一体につくるという案で考えておまして、体育館 は先に壊して、つくって、引っ越しをして、壊してというふうな手順というふ うに考えております。既存の校舎棟、配置がかなり難しいところもございまし て、このE案については、グラウンドが狭くなり気味かなというところが特徴 になっているところではございます。</p> <p>説明は以上になります。よろしくお願いたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最初に、配置検討のための条件整理ということで、資料4の中 で何かご質問等ありましたら、ご質問、ご意見お伺いいたします。</p>
委員	<p>保健室、職員室ともに校庭に面することが非常に重要だということで、この 案でもそれが反映されていると思うのですがけれども、子どもたちが自分の部屋 から校庭にいつでも出られるという、休み時間は本当にみんな出て遊んでいる そうですし、それは非常に重要だな、というふうに思います。</p> <p>具体的には南東側に寄せるというのはすごくいい案だと思うのだけれども、 三年坂のほうに部屋がみんながずらっと並んでしまうということになると、校 庭とのつながりが全くとれなくなるという感じもあるので、その点どう考える かが大きいかなと思いました。どういうお考えでしょうか。</p>
石本建築事務所	<p>そこがやはり難しいところでして、この前皆さんでご覧になった桃井第二小 学校につきましても、建て替えの手順上、グラウンドを向かない教室と、あち らにつきましても南側に教室を置くということを重視されているということも あって、その辺につきましても、案によって差が出る場所と見ております。</p> <p>こちらの中でも、グラウンドに面する教室ということでは、西側にポリュ ームを置く案、もしくは、北側に寄せる案というところでは可能かなと思っ ているところではございます。</p>
委員	<p>つけ加えですけれども、今ちょうど子どもたちの絵を見えています。5年生の 絵とか、子どもたちが改築に関して、どういうことに関心するかですけれど も、意外となぜかわからないけれども、階段のことを書いているのです。何で階 段なのかなとずっと思っていると、みんな休み時間に外に行きたいのです。階 段</p>

	<p>が長くて、急で、3階とかにいる子は大変だから、校庭にすぐ出て、20分とか、5分しか10分しかないという休み時間のときにどれぐらい早く校庭に出て遊ぶということがとても子どもたちには重要で、できるだけ早く子どもたちが校庭に出られるような、そういう学校づくりをお願いしたいと今思っています。</p> <p>それと含めてなのですけれども、既存の校庭を残す案ということなのですけれども、これはもちろんコスト的には安くなるからとてもいいということだと思いますが、でも、南側に校舎があると、校庭が影になってしまうという、そういうちょっと欠点がある。あと、これから80年も長く使うものなので、できる限り理想的な配置はちょっと時間がかかっても、コストがかかっても、できる限り長く使えるような学校がいいのではないかなと思います。それが1つ。</p> <p>もう1つは、ヒマラヤスギのことなのですけれども、実際に寿命がどれぐらいなのかということのを伺いたかったです。これから建て直して残しておいて、あと30年後で枯れてしまうということになったらそこに残す意味もないので、そういうことを誰か、樹医さんが実際に見に来て、どれぐらいの健康状況なのかということのをわかっておいたほうが、こちらの配置のことについてもうちよっと検討できるかなと思います。</p> <p>もう1つは、先ほどの道路のことなのですけれども、資料6の三年坂のほうはセットバックは必要なのかとか、そういうことを伺いたかったです。</p> <p>車が今通っていないので、そのままにするのだったら別にセットバックしなくてもいいのかと。それとも、一部の、今住宅があるところ、家があるところだけでもいいのかとか、そういうことを伺いたかったです。</p> <p>あとは、学童とか、ほかの地域の方が使える施設ということなので、こちらのセキュリティラインはどうするかということのを各案で明確にさせていただけると、もうちょっと検討しやすいと思います。どちらのほうアクセスできて、開放ゾーンなので、どちらのほう学校だけのゾーン、閉鎖のゾーンということのを明確にできたらいいなと思います。</p>
司会	今のところをお願いします。
施設整備担当課長	<p>道路のことについて整理させていただければと思います。資料6をご覧ください。</p> <p>先ほどの設計事務所の説明を重複するところもあるかと思うのですが、まず、先ほどおっしゃられていた三年坂の南側の道路についてです。</p> <p>建築の法律、建築基準法と、あともう1つ、※の3つ目に書いてあります都市計画法というのがございまして、法律上は道路というのは4メートルないといけないと。建て替える際には4メートルに広げなければいけないという法律がございまして。また、ここ先ほど来ありますように高低差がございまして、高低差を解消するときに、都市計画法の開発行為と、ちょっと専門的になってしまうのですが、そういったことがございまして、開発行為をする場合ですと、現状すぐ4メートルに広げなければいけないと、道路の反対側から4メートルに下げなければいけないというのがございまして、それを記載して</p>

	<p>いるところでございます。ですので、法律上やらなければいけないというか、そういった道路の整備になってございます。</p> <p>また、歩道の2メートルにつきましては、区の要綱でございまして、ある程度中規模以上の、マンションとか共同住宅もそうなのですけれども、ある程度の規模の建物をつくる際は2メートルの歩道状空地を設けてくださいという要綱がございますので、それを西側と南側に設ける計画でございまして。</p> <p>この歩道状空地のところは、左側の図ですとオレンジ色でハッチがかかっているところですが、ここは学校の敷地内という形になりますので、先ほど来話しています敷地の面積にはカウントされる場所となっているところでございます。</p>
司会	<p>今の道路の三年坂のところ、もしそれが4メートル以上になった場合は、車は今では通れないことになっているのですけれども、それも車の通行が可能になるというところでしょうか。</p>
施設整備担当課長	<p>そこにつきましては、交通を所管しているのは警察のほうになりますので、そこの話になってくるのかなと思います。</p>
司会	<p>話というのは、こちらで通したくないと言え、通さなくていいことになるのですか。</p>
営繕係主査	<p>あくまでも交通規制の話になりますので、今現在が狭い幅員で、看板があそこ立っているのですかね。それを継続できるかどうかは警察との協議ということで、区役所のほうで通す通さないというのは決められないので、そういう意見があるということで、警察に協議に行くことになると思います。</p>
司会	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>そのほか。委員。</p>
委員	<p>今ご説明いただきましたけれども、ここの案は全部、高低差が杉二の特徴だと思っておりますけれども、それを生かすというところと、緑、自然というところが欠けている。全部考えられていないという印象を受けました。</p> <p>杉二の立地は、川にアーチ状に囲まれていて、丘になっていて、その上に神社があるので、すごいパワースポットだと思うのです。そこから放射状に道路が出ている。</p> <p>エネルギーは上から下に流れてくるので、それをせきとめるようなD案とかE案はちょっと考えられないです。</p> <p>杉二の今の緑はとても貴重でヒマラヤスギを残して下さっている案というのはすごくありがたいと思っています。そういう意味で、鎌倉街道沿いの緑をどうにか残す配置案というのはないのかなと。</p> <p>方南小学校は保存林みたいな感じがあったと思うのですけれども、何かそういうのではなく、今すごくすばらしい調和がとれていると思うのです。周りの川の自然だけではなくて、神社と杉二の緑というのがあって、航空写真とかを見るとすごくよくわかるのですけれども、ずっとそれを何日間か眺めていたのですけれども、すごく大事だと思うのです。</p>

	<p>この配置案だと1回全部緑をなくして、とってつけたように木を植えるみたいになってしまう気がするのです。それだと杉二の特徴ではないし、周りの環境とか、地域の特色とか、そういったものと一緒につくり上げる学校ではないと思います。</p> <p>本殿と相反するようなDとかE案というのは対立するエネルギーになるので、だめだと思うのです。本当はそういう話にも、この土地はなってくるのではないと思うのです。</p> <p>ありがとうございました。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>ということは、もう少し広がりの中で模型を地形を含めて1つつくって、学校の敷地がわかるようにと思います。</p> <p>それと、特に前回は非常に強調されていた、段差があるというのはデメリットではなくて有効に利用できる可能性が大いにある。確かに今ご指摘のように、そのことがA B C D Eでどれにどう反映してくるかというのがわからない。特にAとBは恐らく段差があることが有効に生きるということを含んでいると思うのですけれども、その辺が見えないのです。それは非常に重要なポイントなので、この平面パターンからだけで選びなさいというのは難しいと思います。</p> <p>それと、北側は日影で、北側の敷地に影を落とせないというのがあるので、制約が加わってしまうから、せいぜい2階建てになってしまうのですか。今は3階ですけれども、2階にせざるを得ないので、そういう選択肢がここからは消えてしまっているということなのでしょうけれども。シミュレーションとしては、北側にもある程度置いて、東側というか、そういうパターンはここにはないので、一応どのくらいできるかというのは検討したほうがいいのではないかなと思ったのです。</p>
委員	<p>現在の配置状況を見ると、北側に校舎があるのです。南側、東側がどちらかというイメージで、そういう意味では、校庭、1棟がかなり明るくなっていて、学校全体が明るいというイメージとして、恐らく既存の校舎の配置になっているのだと思うのです。それは、その当時の人たちがよく考えて、学校全体が明るい、学校にということによってこういう配置にしたのだと思うのです。</p> <p>南側に校舎があると、全体的にこれは暗くなるなとも思いますし、その分でいくと、それを多少なりとも改善しているのはC案になるのかと思うのです。</p>
委員	<p>C案みたいに南側ではなくて北側にあるというのが理想だと思うのです。80年間使うという学校なので、今はコストのことで問題になるかもしれませんが、でも少しでも値段が高くついてもやるべきことだと思うのです。80年後とか100年後のこの地域のことを考えてみると、それくらい投資したほうがいいと思います。</p> <p>それとともに、できるだけいい配置、理想の配置をつくったほうが長持ちするのではないかと思います。今の5年、10年、15年ぐらいは子どもの数は増えるかもしれませんが、絶対的に下がります。そのときに、ほかの学校は</p>

	<p>全部閉鎖し始めます。そのとき、どの学校が残るかということになると、やはりこういうふうに理想のあるいい学校が残ると思うのです。</p> <p>それともう1つ、仮校舎のことについて書いているのですが、実は私、ビオトープの管理を手伝ってまして、ビオトープがどこにあるかということが、仮ビオトープというのがないので、その辺を検討していただけたらいいと思うのです。</p> <p>今から10年ぐらい前、ここの先生と子どもたちが一緒につくったビオトープなのです。本当に珍しい在来種の植物とかがそこに、子どもたちが選んで植えたものなので、それを残したい。例えば、ビオトープを工事中にどこに置けばいいかということを検討できたらいいなと思います。</p> <p>校庭のところに木の地図があるのですがけれども、木の名前を全部調べた方に来てもらって、木の健康の具合をちょっと見てもらうとか、そういうことも、今の子どもと一緒にやったら楽しいと思うのです。もしかして切らないといけないのだったら、子どもたちと一緒にさようならみたいな会ができたらいいなと、ちょっと思っています。ありがとうございます。</p>
司会	<p>それでは、これから議論をしていく中で、A案からE案、それぞれ絞っていかなければならないのですけれども。私のほうから。</p> <p>随分校庭が狭くなってきているなど感じています。また、出していただいているA案からE案については、これは3階建ての配置案なのでしょうか。ということは、もし、高さ制限が少し解除できる条件があるならば、もう少しそこは、校庭が広がっていくというイメージなのでしょうか。</p>
施設整備担当課長	<p>資料4の右上のほうに書いてございますとおり、高低差が今回敷地にありますので、高低差があるところをまず地盤がどこだという話になるのですね。建築基準法では。そのときに、こちらに目安を書いているのですけれども、大体小学校は4階建てぐらいでつくと16メートルぐらいの高さになります。ここは、初回のほうに話させていただきましたとおり、10メートルの絶対高さの制限がありますので、6メートル分は特別な、普段はできないような許可をとれば建てられるという形になりますので、そこは許認可をしてもらう部署と今後協議していく必要があるかなと考えてございますけれども。</p> <p>直近の小学校、同じような10メートルの制限の学校でございますと、総4階建てではなくて、一部4階建てとか、そういうやり方でつくっている学校もございますので、今後の、先ほどの校庭とのバランスだとか、あるいは、これからさらに、今中身書いていないのですけれども、これから廊下の幅だとか、教室の大きさだとか入れていけば、どのぐらいの床面積を確保できるかというところで、今後高さについては検討していく形かなと考えてございます。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>いろいろ意見が出てきて、そして、この5案出てきているのですけれども、今いっぱい出てきた案を絞り込んでいくためには、これは本当に難しいだろう</p>

	<p>というのは少し削ってから検討していかないとなかなか時間がかかる仕事かなと感じております。</p> <p>先ほど出た樹木の件も、シンボルツリーだったら優先的に考える必要があるのですけれども、メタセコイアというすごく大きくなる木なのです。生きた化石と呼ばれているので、3,000年ぐらいは、冗談抜きで本当に大きくなってしまって、すごい大量に落葉するのです。でも、杉並区の木ではあるので、アケボノスギと呼ばれているので、大事にしていかなければいけなくて、学校にはあるのですけれども、結構学校泣かせな木でもあるということは知っていただいて、それ以外のものでも緑はうまく活用していく必要があるかなと思っています。</p> <p>それから、さっき、校舎を北側に建てて、南面に窓が全部来てという、これも桃二を建てるときにすごく考えたのですけれども、今の現状から言うと、南側がすごく日当たりがよすぎると、もう1日中カーテンをしていなければいけない。子どもがいる時間帯は、1日中カーテンをしていないと、まぶしくて目をやられてしまうという感じなのです。ましてや、プロジェクターでデジタル教科書をやったりすると、さらに分厚いカーテンを引いてやっているのです、それも必須でなくても、今の学校の授業の形態としては、それは大事なポイントになってくるかなと思います。</p> <p>それから、子どもがすぐ外に出て遊べる環境というところも、子どもは外にぱっと出るわけではないのです。動線からいうと、昇降口を通過して校庭に出るという動きをとるので、その動線を整えるという考えにしていくと、子どもたちの意欲、「早く外で遊びたい」という意欲をうまく、人の流れという計算で解消できるかなと思うのです。</p> <p>最後に、体育館とか学童の位置なのですが、別の時間帯に動きがあるので、使う門とそことの、動線をセキュリティの面も含めて、近いほうが多分外部の方も使いやすいし、学童の子どもたちも体育館を使わせてもらえるはずなので、そういうことも考慮して案ができるといいかなと思っています。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>このAからEまでのを考えると大変だなと思って、拝見させていただきました。使うほうから見ると、まず、逆に消去法的に考えると、先ほど55メートル掛ける70メートルの現状の校庭のここはキープしようという、この考え方でとてもいいかなと思って考えていくと、E案は使い勝手が悪いかなという感じがしています。</p> <p>北側には校舎がもともと建っていたのですけれども、建てたときには周りに家がなかった。だからここに建てられたけれども、今はない。では、グラウンドにしたらどうかという、ボールが出ていくからネットを立てなければいけない。いろいろなことがあります。この形だとちょっと使い勝手が悪いなと。</p> <p>逆に、同じようなことを言うと、B案もちょっと苦しいかなと思っています。</p> <p>グラウンドの使い方や何かを考えると、AとかCが使いやすいのかなと思っています。</p>

	<p>C案は、実にシンプルで普通の学校のつくりに近いと思っています。ここで4階建てを真ん中のところに建てるとかして、日照権の関係や何かもクリアできるならば、これが一番無難なのかと。真ん中に畑とか何かがあるかもしれませんが、そんなところにビオトープなんかは流れていくと、今のビオトープは子どもたちが行けないところがあるので、親御さんがボランティアで立っている時間帯しか行けないという状況なのですけれども、ここだと生活空間の中で入ってこれるところで、これも私はいつも生活しながら、ビオトープの観察もできるとか、そんなこともあるので、C案でいいのかなと。</p> <p>段差も、これ段差を活用しながらこの校舎の断面でやっていっても、そのままいけるかなと。グラウンドのところだけがフラットになっていけば、グラウンドの校庭環境の3,700と書いてありますけれども、実際には本校のグラウンドの面積はもっと広いかもしれないけれども、結局スロープになっていて、実際に子どもたちが活用しているところというのはそんなに多くないですね。そうではなくて、子どもたちが本当に有効活用できる広さで、これだけあれば十分いい環境になるのでないかなと思いました。</p> <p>あと、このC案で、どっちがいいかよくわからないですけれども、メインの門がどちらかに来ればいいのかなというようなところ。今はカーブのところには門があるというところで、非常に危ない環境にあります。よく事故が起こらないなというところですので、そういったことも考え合わせると、せっかく門があるなら緑地側にあってもいいのかなと思います。</p> <p>B案については、体育館がこちらにあると、せっかく広がっているところが狭くなってしまって、子どもたちが活動するときちょっとつらくなるかなというようなところがあります。</p> <p>南側に校舎があるのはなかなか難しい部分があって、例えば、D案で南側に建物が建ってグラウンドがあると、日影になって、冬場になると霜柱が立ったりするので。そこに子どもたちが遊ぶとぐちゃぐちゃになって、グラウンドがしばらく使えないということがあります。それを防ぐために塩化カルシウムをまくと今度はそこに水がたまっていくために、いつまでたってもそこがぐちゃぐちゃのままということになりかねないということで、広さはあるけれども、実際に使えるのは、D案でいくと、図書室、学童室の、仮校舎のこのあたりからなりかねないということがあるので、ちょっとこれもなかなかしんどいのではないかなという感じがしました。</p> <p>最後に、開放ブロックだとか、学童さんだとか、使う人によってエリアを区切って、自分がかつていた学校では5時になったらシャッターが閉まって、そこから先は図書室でも和室でも、開放ができる場所はそこから開放しますよとなったので、そんなような工夫もできたらありがたいかなと思います。</p>
委員	今の状況でこのビジョンを実現するのはどの配置のなのかというのがわからなかったです。
委員	こちらのほうの模型のほうも、私これを見たときに、最初は向きが間違っ

	<p>いますよねと思ったのです。本当は坂がこうなっているから、こっち側のはずなのに。さらに高低差があるのに、全くフラットというのもおかしいなと思ったのです。これだとなかなかビジュアルにできないなと思いました。まだ模型の話はされていないのですけれども、使うのであれば、これは間違っている模型ではないかなと思いました。</p>
委員	<p>私もC案をすごく推奨するというのは、校舎の位置なのです。</p> <p>校庭を南側にするという案もいいのですけれども、そちら側というのは、住宅にすごく接していると思うのです。フェンスを高いものを建てるというのもいいのですけれども、ボールとかそういう危険面ではいいかもしれないのですけれども、ここは朝、土日でもスポーツとかしたりして結構その声が聞こえるのです。今の配置だと校舎があったり、体育館があるので、多少軽減されていると思います。なので、なるべく住宅側には高い建物を建てて、少しそういうものを遮るような形をとったほうがいいのではないかなと、私は思いました。</p>
委員	<p>いろいろお話を聞かせていただいていたのですけれども、私自身もC案がいいなと思っています。</p> <p>南側がすごく日当たりがよすぎると、結構子どもたちに、日射が強いのも確かに困るところもあるかと思うのです。けれども、以前、講演会とかで勉強させていただいたときに、今の子どもたちは骨も弱くなってきて、日光に当たらないとと考えられるということがありました。このC案のほうが校舎から、子どもたちもすぐに出られる可能性として考えられるのかなと思いました。</p> <p>あと、体育館と学童が後ろに別棟になっていることによって、地域の方々だったり、保護者の活動であったりとかというのも使いやすいのかなという感じに見受けられましたし、セキュリティのほうでも、先ほど副校長先生がおっしゃっていたように、別にしていることによってみんなが使いやすいようになっているのではないかなと思いました。</p> <p>あと1点、防災倉庫というのは、これはどこに含まれるというのはあるのでしょうか。</p>
石本建築事務所	<p>防災倉庫を考えているところですが、こちらにつきましては、防災課の方々も含めて協議していきたいと思っています。使いやすいところということもございまして、水害に対してそのときにさらに使いやすいとか、そういったことも含めて、規模的には計画的にどうにかなるかなという大きさかなと思っています。日中の管理、その辺も含めて、今後詰めていきたいなと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう1つだけ。保護者の立場として大変気になるところではあるのですが、資料4には「既存の給食調理場を活用し、仮校舎の小規模化を検討します」と書いてくださっているのですが、C案を見ていると、仮設校舎というか、仮設の給食をつくる場所というのは、今のところを使っただいて、給食自体は。</p>

石本建築事務所	<p>工事STEP、再度Cについてご説明したほうがよいのではないかとということで、資料5のC案の工事STEPを再度ご説明いたします。</p> <p>1番、最初に、既存のプール棟の改築分ということで、学童、図書室関係の仮設をつくる。それと、体育館も重なってしまうところがございますので、その仮設をつくと。これをつくった段階で、プール棟と既存体育館を解体します。最初に、L形になっている部分の新校舎を建設を考えています。</p> <p>先ほど資料4のほうで挙げさせてもらったのですが、給食については、東側の地下、1階の下をなるべく使えればということもありまして、このC案でいいますと「校舎」と書いてあるところ「B1F/3F」、この「3F」と書いてあるところの下あたり、もしくはこの辺のところで給食関係をつくってあげればと。これを先につくれれば、既存の校舎が引っ越したときに、一緒に給食調理場も引っ越せるかなというところを今考えているところでございます。</p> <p>あとは、順次、外構整備というような形でステップのほうは進むという想定で、こんな感じで行っているところでございます。</p>
司会	<p>ありがとうございました。では、委員からお願いいたします。</p>
委員	<p>次回に向けてのことかと思うのですが、確かにこれ、断面方向の図面を見たいと思いますので、多分これからボリュームとかも詰まってくると思うのですが、多分南北方向と東西方向で、特に東西で切った場合には善福寺川緑地のあたりまでも含めた断面が見られると、より伝わるのではないかと思いますし、あともう1つは広域の、少し広い範囲で、神社も含まれたような周辺の図も1つ出してもらいたいと思っております。</p> <p>それと、多分この案が、今回5案ありますけれども、それぞれがどのビジョンを解くためにこの案が出たというような説明が案の上にあると、多分つながりがわかってくるのではないかと思いますので、案とビジョンとのつながりをこの中であらわしながら説明してもらえればと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>なかなか、今この時間で1つの案に絞っていくというところは難しいと思いますので、また次回に議論をしていきたいと思っております。</p> <p>それでは、本日いただいた意見を踏まえて、事務局でもう少し案を絞っていただくということで、次回に配置計画を決めていくということでいかがでしょうか。</p> <p>それでは、もしいろいろなご意見持ち帰って、各町会や自治会、PTA、それぞれの組織で検討していきたいという声もありますので、その際は、8月20日までに事務局にご連絡する形にしたいと思いますが、いかがでしょうか、8月20日でよろしいですか。</p> <p>それでは、事務局のほうから連絡事項についてお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>(連絡事項)</p>

司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に、学校整備担当部長、中村部長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>担当部長の中村でございます。本日はまことにありがとうございました。</p> <p>本日、皆様のご議論、あるいは事務局の資料に出し方を私なりに総括してみたのですが、反省点が1つありまして、見事に最後に桑田先生からご指摘をいただいたことかなと思っていて、はっきり言います。前段の議論と、後段の説明がリンクしていないのですね。</p> <p>すなわち、このビジョンの中のどれを反映するとかこういう絵柄になってくるのかという説明が全く不足しているなど思っていて、今日帰ったら職員と話をしようかなと思っています。</p> <p>各論が幾つか出ましたよね。最初にそちらの女性のほうから、緑のビジョン2がどこに生かされているのかとか。それから、石川さんのほうからは、そもそもまずどのビジョンという話からスタートする。これは、何も運用だけの問題ではなくて、こういうハードからそういうふうを考えるべきなのではないのと、そもそも論が出ましたけれども、全くそのとおりで。そこももう少し、今日2時間やった中の、前段の話と後段の設計事務所の説明がもっとリンクする形で、もう1回少し仕切り直そうかなと思っています。</p> <p>それ以外にも、各論としては校庭の広さをもっと確保、あるいはまた、さらにこの杉二の伝統だとかそういった話ですとか、さまざま出ました。</p> <p>それから、本論にはなりませんけれども、実際工事中の子どもたちの学習機会の確保ということ、これもしっかりやっていきたいなど思っていますので、さまざまいただいたご意見を参考に、これからまた進めていきたいと思えます。本当にありがとうございました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、以上で終了いたします。ご苦労さまでした。</p>